



## 1 運営推進懇談会（箕面森林ふれあい推進センター）

### 1 平成29年度運営推進懇談会について

#### ①趣旨

箕面森林ふれあい推進センターでは、森林づくり活動や自然再生活動を行っているNPO及び森林環境教育を推進している教育関係者等の要望を的確に反映した取組等を行うため、当センターの運営に関して、学識経験者、森林ボランティア活動を行っている者及びマスコミ関係者をメンバーとする懇談会を設置し、懇談会等からの意見及び要望等を反映させた対話型の取組、効果的・効率的な運営を推進しています。

#### ②検討事項

- ボランティアによる森林整備活動に関する事
- 自然再生に関する事
- 森林環境教育支援活動に関する事
- 情報の受発信に関する事

#### ③懇談会委員（五十音順、敬称略）

- ・ 金井久美子（NPO法人地球緑化センター元専務理事）
- ・ 北出 昭（毎日新聞社大津支局）
- ・ 山下 宏文（京都教育大学教授）

### 2 平成29年度運営推進懇談会実施概要

#### ①第1回運営推進懇談会（平成29年6月14日（水）、近畿中国森林管理局会議室）

平成29年度の具体的活動内容について説明し、委員と意見交換を行いました。

委員からは、情報発信（年報）について、こだま通信でホームページにセンターの年報を掲載していること、年報の中でもホームページに掲載することを伝えるべき。森林環境教育「森の探検隊」について、4年の社会科で水源林について学ぶことになっているので、校長会へのプレゼンでは水源林のことも含めて学校側を押ししてみるべき。シカ被害対策（捕獲業務）について、他では中々旨くまとまらないと聞かすが、箕面では行政や猟友会との連携がとても良い。などの意見が出され、活動に活かして行くことを確認しました。

#### ②第2回運営推進懇談会（平成29年12月11日（月）、近畿中国森林管理局会議室）

平成29年度の活動実績及び平成30年度の活動計画（案）について説明し、委員と意見交換会を行いました。

委員からは、森林体験学習が着々と増えて色々な関わり方をしているが、例えば体験した大学生が「森の探検隊」の中で、小学生たちのリーダー的な役割をするという連携が図れればと良いと思う。森林環境教育（森林ESD）について、ESDの分析表は学校の先生しか記載できない部分も結構あり、その部分は先生が記載しているが、そのことで学校と活動団体の意思疎通や情報の共有が図られる。そういうところは是非、取りまとめの冊子の中に入れること。また、冊子は教育委員会へ配布すること、府県の環境教育の研究部局があるので、その研究部長へ送ること。などの意見が出され、平成30年度の事業に活かしていくことを確認しました。

## 2 取組一覧、連携一覧

### 活動一覧表

#### ①森林環境教育関係

各種事業を通じて、森林環境教育等の普及・技術提供・情報発信に取り組んでいます。

| 年月日                       | 内 容  | 参加者               | 場 所             |
|---------------------------|--|-------------------|-----------------|
| H29. 5. 25                | 箕面体験学習の森検討委員会                              | 検討委員              | 局               |
| H29. 6. 1                 | YMCA学院へ出前授業                                | 高校生               | 大阪市             |
| H29. 6. 11                | 第1回みのお森のセラピー<br>(NPO山麓保全委員会と共催、森林ふれあい推進事業) | 公募                | 箕面国有林           |
| H29. 6. 14                | 箕面森林ふれあい推進センター運営推進懇談会                      | 懇談会委員             | 局               |
| H29. 6. 28                | 森の探検隊紹介                                    | 箕面市教育委員会<br>四役協議会 | 箕面市教育委員会        |
| H29. 7. 5                 | 森の探検隊紹介                                    | 箕面市教育委員会 校長会      | 箕面市役所           |
| H29. 7. 26                | 教員研修「森林の探検隊」(箕面市教育委員会共催)                   | 教員                | 箕面国有林           |
| H29. 7. 27                | 森林環境教育教員研修(箕面市教育委員会共催)                     | 教員                | 箕面国有林           |
| H29. 8. 20                | 第1回森林の謎解き探検隊<br>(vitalinkと共催、森林ふれあい推進事業)   | 公募                | 箕面国有林           |
| H29. 9. 9                 | 第2回森林の謎解き探検隊<br>(vitalinkと共催、森林ふれあい推進事業)   | 公募                | 箕面国有林           |
| H29. 9. 12                | 森林と木材！フォトコンテスト審査会                          | 審査員               | 局               |
| H29. 9. 21                | 大阪府温暖化「適応」推進事業森林のセラピー                      | 公募                | 箕面国有林           |
| H29. 10. 8                | 第2回みのお森のセラピー<br>(NPO山麓保全委員会と共催、森林ふれあい推進事業) | 公募                | 箕面国有林           |
| H29. 10. 27               | YMCA学院へ出前授業                                | 高校生               | 大阪市             |
| H29. 11. 4<br>12. 19      | 地球環境論野外実習(大阪青山大学)<br>発表会                   | 大学生               | 箕面国有林<br>大阪青山大学 |
| H29. 11. 13<br>H30. 1. 25 | 森林の探検隊(箕面市立豊川北小学校)<br>発表会                  | 小学4年生             | 箕面国有林<br>豊川北小   |
| H29. 11. 30               | 野外学習受入れ(大阪中央工学校)                           | 専門学校生             | 箕面国有林           |

| 年月日                   | 内 容  | 参加者          | 場 所       |
|-----------------------|--|--------------|-----------|
| H29. 11. 30           | 学校との連携を目指して－E S Dの視点を取り入れた森林環境教育の取組－               | 国有林野業務研究発表会  | 林野庁       |
| H29. 12. 11           | 箕面森林ふれあい推進センター運営推進懇談会                              | 懇談会委員        | 局         |
| H29. 12. 22           | 森の探検隊紹介  | 大阪市教育センター職員  | 大阪市教育センター |
| H30. 1. 26            | 森と自然を活用した保育・幼児教育 自治体勉強会<br>(主催：国土緑推、共催：近畿中国森林管理局外) | 自治体職員・一般     | 局         |
| H30. 1. 27            | 森林環境教育（森林E S D）活動報告・意見交換会                          | 公募団体・一般      | 局         |
| H30. 3. 15<br>～ 3. 16 | 視察研修受入れ（箱根山組合）                                     | 箱根山組合、森のたねまき | 箕面国有林外    |
| H30. 3. 21            | ジビエカレー無料試食会（水源の森ジオラマ出展）                            | 小学生、一般       | 局         |

## ②ニホンジカ被害対策関係

シカ被害対策を通して、自然再生及び多様な生態系の維持に取り組んでいます。

| 年月日        | 内 容              | 参加者         | 場 所 |
|------------|------------------|-------------|-----|
| H29. 4. 27 | 第1回シカ被害対策署等担当者会議 | 署等          | 局   |
| H29. 9. 27 | 第2回シカ被害対策署等担当者会議 | 署等          | 局   |
| H30. 3. 6  | シカ被害対策技術交流会      | 研究機関、猟友会、一般 | 局   |
| H30. 3. 7  | 第3回シカ被害対策署等担当者会議 | 署等          | 局   |

## 連携一覧表

### ①森林環境教育等関係

地域・NPO団体等との連携を大切にして活動しています。

| 年月日                          | 内 容                                | 相手方・協力者等                      | 場 所         |
|------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|-------------|
| H29. 4. 18<br>4. 24<br>4. 27 | 明治の森箕面国定公園春期パトロール                  | 明治の森箕面国定公園保護管理運営協議会（大阪府、箕面市外） | 箕面国定公園      |
| H29. 4. 20                   | 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会第58回例会           | 協議会・大阪府・箕面市外                  | 箕面市役所       |
| H29. 5. 18                   | 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会総会・第9回例・シカ食害対策部会 | 協議会・大阪府・箕面市外                  | 箕面市役所       |
| H29. 5. 29<br>～ 6. 30        | 森林と木材！フォトコンテスト入選作品展示               | 大阪大学医学部附属病院                   | 附属病院<br>病棟  |
| H29. 5. 31                   | 森林と市民を結ぶ全国の集いin京都実行委員会             | 実行委員                          | 京都府林業<br>会館 |
| H29. 6. 26                   | 箕面国定公園保護管理運営協議会幹事会                 | 協議会                           | 箕面市役所       |
| H29. 7. 20                   | 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会第60回例会・環境教育部会    | 協議会・大阪府・箕面市外                  | 箕面市役所       |
| H29. 8. 3                    | 明治の森箕面国定公園保護管理運営協議会総会              | 協議会                           | 箕面市役所       |
| H29. 9. 21                   | 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会第61回例会・環境教育部会    | 協議会                           | 箕面市役所       |
| H29. 10. 11<br>10. 25        | 明治の森箕面国定公園秋期パトロール                  | 明治の森箕面国定公園保護管理運営協議会（大阪府、箕面市外） | 箕面国定公園      |
| H29. 10. 19                  | 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会第62回例会・ナラガレ部会    | 協議会                           | 箕面市役所       |
| H29. 11. 3                   | 「みのお山とみどりのフェスティバル」へ出展              | 箕面市・NPOみのお山麓保全委員会             | 箕面公園        |
| H29. 12. 2<br>～ 12. 23       | 森林と木材！フォトコンテスト入選作品展示               | 大阪大学医学部附属病院                   | 附属病院<br>病棟  |
| H29. 12. 21                  | 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会第63回例会           | 協議会                           | 箕面市役所       |
| H30. 2. 15                   | 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会第64回例会           | 協議会                           | 箕面市役所       |



## ②ニホンジカ被害対策等自然再生関係

地域・NPO団体等との連携を大切にして活動しています。

| 年月日         | 内 容              | 相手方・協力者等     | 場 所    |
|-------------|------------------|--------------|--------|
| H29. 4. 22  | 大阪ハンティングアカデミー入校式 | 公益社団法人大阪府猟友会 | 局会議室   |
| H29. 5. 11  | 大阪ハンティングアカデミー講義  | 公益社団法人大阪府猟友会 | 大阪府猟友会 |
| H29. 6. 12  | 大阪ハンティングアカデミー講義  | 公益社団法人大阪府猟友会 | 大阪府猟友会 |
| H29. 7. 6   | 大阪ハンティングアカデミー講義  | 公益社団法人大阪府猟友会 | 大阪府猟友会 |
| H29. 7. 13  | 箕面市有害鳥獣被害対策協議会   | 協議会          | 箕面市役所  |
| H29. 8. 9   | 大阪ハンティングアカデミー講義  | 公益社団法人大阪府猟友会 | 大阪府猟友会 |
| H29. 8. 31  | カワウワーキンググループ会合   | 委員           | 大津市    |
| H29. 11. 28 | シカ被害防止対策情報交換会    | 猟友会・協議会・箕面市  | 箕面市役所  |
| H30. 3. 24  | 大阪ハンティングアカデミー修了式 | 公益社団法人大阪府猟友会 | 局会議室   |



## 水都おおさか森林の市 2017 「森林と木材！フォトコンテスト」 — 作品募集中 —

今年は「水都おおさか森林の市」と共催（水都おおさか森林の市賞を追加）し、フォトコンテストを開催します。

森林の持つ生物多様性、森林での体験や森林環境教育の活動、木材との触れあいなどの体験を通して、あなたが感動し、伝えたい森林や木材への想いなどを写真（2枚1組か3枚1組のデジタル写真）とメッセージ（200字程度）で表現した作品を募集します。

入賞作品の表彰式・発表会と展示は、10月22日（日）に開催される「水都おおさか森林の市」の会場で行います。

募集の詳細については、チラシやホームページをご覧ください。

([http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\\_fc/](http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/))

応募締切は  
8月31日（木）です！



あなたが感動し、伝えたい、  
森林での発見！森林での体験！  
木材との触れあい！



- ①森林で見つけた動植物（昆虫・動物・植物）
- ②森林での体験・活動（里山整備、森林環境教育など）
- ③木材と人との触れあい（木材や木製品・木造建築などと人との触れあい）

①から③のいずれかの部門に沿った、感動し伝えたい森林や木材への想いなどをデジタル組写真（A4判・2枚1組または3枚1組）とメッセージ（200字程度）を募集します。受賞した7作品の表彰式・発表会は平成29年10月22日（日）水都おおさか森林の市会場『近畿中国森林管理局1階』で行います。

**水都おおさか森林の市 2017  
森林と木材！  
フォトコンテスト**

**テーマ**  
あなたが感動し、伝えたい、森林での発見！  
森林での体験！木材との触れあい！

- ① 森林で見つけた動植物（昆虫・動物・植物）
- ② 森林での体験・活動（里山整備、森林環境教育など）
- ③ 木材と人との触れあい（木材や木製品・木造建築などと人との触れあい）

**募集期間** 平成29年6月1日（木）～平成29年8月31日（木）消印有効

**表彰** 近畿中国森林管理局長賞（3作品）  
優秀賞（3作品）  
水都おおさか森林の市賞（1作品）

**審査員**  
只木良也氏（慶應義塾・慶應義塾大学大学院教授）  
久山真子氏（フォルムソウエイチ・事務局長）  
北山研次氏（（株）E&S取締役・専攻大学教授）  
三宅英福氏（株式会社カネタツ・木づくり実行委員会）  
橋本一洋氏（近畿中国森林管理局）

**作品募集**  
募集部門に沿ったデジタル組写真（A4判・2枚1組か3枚1組）とメッセージ（200字程度）を募集！！  
※撮影場所は、近畿中国森林管理局管内

**応募締切先** 林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター 〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8番75号  
TEL (050) 3160-6745 FAX (06) 6881-2055 HP [http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\\_fc/](http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/) E-mail [kc\\_fureai@maff.go.jp](mailto:kc_fureai@maff.go.jp)

主催：林野庁 近畿中国森林管理局  
共催：水都おおさか森林づくり・ネットワーク実行委員会  
後援：近畿農政局/公益社団法人日本林業振興会/公益社団法人国土緑化推進機構/特定非営利活動法人地球緑化センター/公益社団法人京都モルフォレスト協会  
協賛：管内2府12県森林組合連合会等/森林組合連合会（石川県・福井県・三重県・滋賀県・京都府・奈良県・和歌山県・兵庫県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県）/大阪府森林組合・管内2府12県木材協同組合連合会等（石川県木材産業振興協会、木材組合連合会（福井県・京都府・岡山県・広島県）  
木材協同組合連合会（三重県・奈良県・和歌山県・鳥取県）、木材協会（滋賀県・島根県・山口県）、大阪府木材連合会、兵庫県木材業協同組合連合会）  
朝日新聞社/産経新聞社/日本経済新聞社/大阪本社/毎日新聞社/読売新聞/NHK大阪放送局

このチラシは、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に活用しています

募集チラシ↑



# 「明治の森箕面国定公園」が指定50周年を迎えます！！

箕面森林ふれあい推進センターも「明治の森箕面国定公園保護管理運営協議会」の一員として協力していきます！！

明治の森箕面国定公園(箕面市:箕面国有林含む)は、昭和42年(1967年)に「明治100年」を記念して東京都の高尾とともに国定公園に指定されました。現在でも都市近郊の自然公園として豊かな自然環境が残っており、年間約180万人の方々にご利用されています。

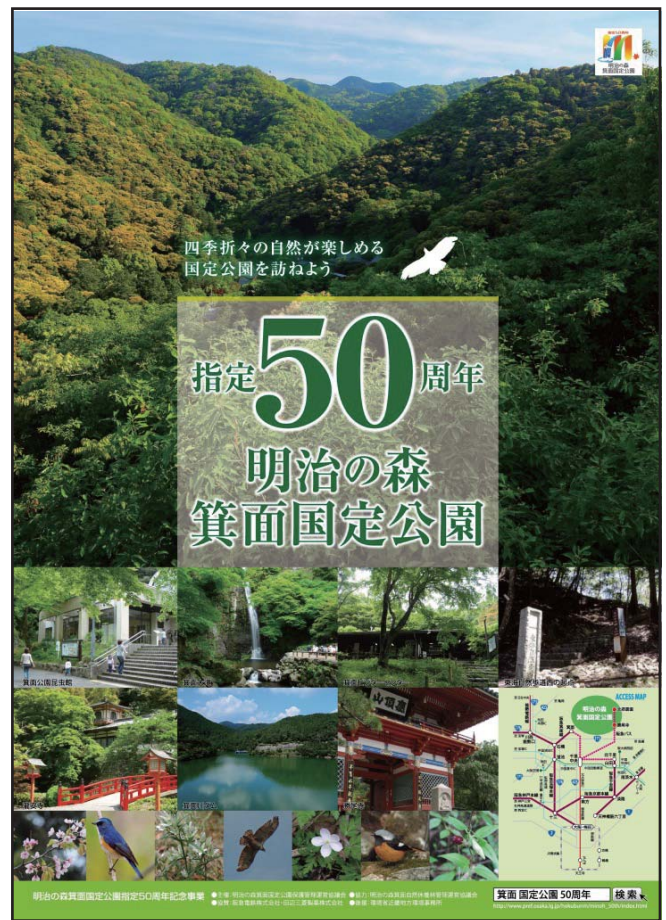
指定50周年を記念して、今後のさらなる府民の憩いの場としての利用促進と、自然保護の機運を高めるため、1年間にわたって子どもから大人まで楽しめるイベントが開催されます。

家族やお友達と、箕面の森林に出かけませんか。



詳しくはホームページをご覧ください。

([http://www.pref.osaka.lg.jp/hokubunm/minoh\\_50th/](http://www.pref.osaka.lg.jp/hokubunm/minoh_50th/))



## 6月、7月の箕面森林ふれあい推進センターの予定

- 6月 1日 YMCA学院高等学校を対象に出前授業を実施
- 6月 11日 森林ふれあい推進事業「みのお森のセラピー」の開催(勝尾寺園地周辺)
- 6月 12日 大阪ハンティングアカデミー(OHA)講師
- 6月 14日 箕面森林ふれあい推進センター運営推進懇談会の開催
- 7月 6日 大阪ハンティングアカデミー(OHA)講師
- 7月 20日 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会への出席
- 7月 26日 箕面市教育研究会理科部会と共催で「森の探検隊」教員等研修を実施
- 7月 27日 箕面市教育委員会と共催で「環境教育」教員研修を実施

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター  
 TEL:050-3160-6745/FAX:06-6881-2055  
 〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局3F  
 URL:[http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\\_fc/](http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/)  
 E-Mail [kc\\_fureai@maff.go.jp](mailto:kc_fureai@maff.go.jp)



## 「森の探検隊」プログラムを教員・大学生が体験・検証！！ ～小学生の森林体験学習の充実のために～

箕面森林ふれあい推進センターでは、箕面国有林「エキスポの森」内で取り組んでいる「オオクワガタの棲める森づくり」等のフィールドを活用して、ポイントを回りながら自然や社会、理科などに関する設問を解いていく森林環境教育プログラム「森の探検隊」を開発し、箕面市内の小学生が体験しています。このプログラムを多くの教員にも体験してもらい、その活用と充実を図ることを



目的に、7月26日(水)、箕面市教育研究会理科部会と共催で第3回目となる平成29年度「森の探検隊教員等研修」を開催しました。

当日は、箕面市内の小学校教員9名、大阪青山大学と京都府立大学の学生2名、京都大阪森林管理事務所職員3名、合計14名が参加。スタッフとして、大阪森林インストラクター会5名、箕面森林ふれあい推進センター4名と、午後からの箕面川ダム施設見学では、大阪府池田土木事務所の挾山主査にお世話になりました。

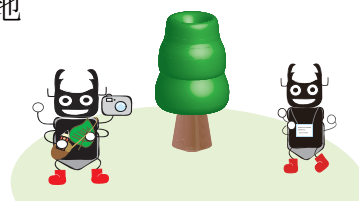
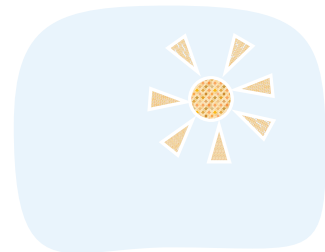
### 森の探検隊

5班に別れて、班ごとに決められた探検ポイントを実際に回り、昨年からの改善部分の検証や、教員の目線から新しい設問になりそうなものがないか、また、設問の内容が子ども達に理解できるかなど、与えられた課題に対して班の補助者の森林インストラクターから助言を受けながら体験してもらいました。





教員からは、「森林について、普段とは違う視点で学べた。森林について、もっと伝えていきたい。」等の感想や、「設問やヒントの言葉の表現を今の子ども達が理解できるのか疑問だ、また、答えを導きやすくするために三択問題にしたらどうか」等の意見も出され、まだまだ改善の余地があることを実感しました。



## 箕面川ダム施設見学

午後からは、大阪府の施設である箕面川ダムに移動して、ダム建設に至るこれまでの経緯やダムの機能、国定公園内に建設されたダムの自然環境保全対策等の説明を受けた後、教員の目線から小学生のダム施設等の見学が可能かどうかも含めて、堤体内部等の施設内を見学しました。

教員からは、ダム建設以降の水害発生の有無やダム湖の湖底に堆積している土砂の取り除き方法やその時期などについて活発な質疑・応答が交わされました。

また、小学生がダム施設を見学することに対しては、一度に全員が会議室や屋上での説明を受けるには狭小、また、堤体内部の見学も階段が急な上に長く危険との意見がありました。

箕面森林ふれあいセンターでは、今後も「森の探検隊」プログラムの充実と定着に向けて、引き続き教員等への働きかけに取り組んでいく考えです。



箕面川ダム





## 子ども達に「主体的・対話的で深い学び」を！！ ～小中学校教員向けの森林環境教育研修～

箕面森林ふれあい推進センターでは、「森林環境教育の推進」を図るため、教職員への普及啓発や森林技術指導、森林環境教育プログラムの教材の提供などに積極的に取り組んでいます。大阪府箕面市教育委員会では、環境教育推進において、「児童・生徒自らが地球規模で生じている環境問題について考え、環境の保全やよりよい環境の創造に向けて、身近なところから具体的に実践する態度を身に付けさせるよう努めること」とされており、取組みに当たって、恵まれた箕面市の自然環境、とりわけ森林を学習に取り入れることの有効性について、教員の理解を深め、指導力の向上を図りたいとしています。

当センターと教育委員会は平成16年度から連携して、毎年、箕面市内の国有林を活用した森林環境教育研修を開催しています。



### 森林環境教育教員研修

7月27日(木)、箕面国有林「勝尾寺園地」において、大阪府の箕面市教育委員会と共催による平成29年度「森林環境教育教員研修」を開催しました。

当日は箕面市内の採用2年目の小中学校教員等、35名(小学校29名、中学校6名)が参加し、午前は森林環境教育の重要性と進め方等の講義と、午後からはネイチャーゲームと間伐体験に分かれて体験を主体に行いました。

開会に当たり、箕面森林ふれあい推進センターの白川所長から、「森林環境教育は子ども達の「生きる力」を育む上で大変有効。先生自身が体験して理解を深め、今後の教育の場で森林環境教育を実践して欲しい。」と挨拶しました。



## 京都教育大学の山下宏文教授 「森林環境教育の重要性と進め方」を講義

小学校での各教科での森林の扱いや里山、森林環境教育のポイント(体験する、知る、関わる)、新学習指導要領の中で求められている「主体的・対話的で深い学び」として森林環境教育の有効性などについて講義。参加者からは、「森林環境についての正しい理解と、これからどうしていけば良いのか、行動に移すことが大切だと分かった。また、自然を見て感動できる感性も養っていききたい。」などの意見。



## 箕面公園昆虫館の中峰空館長 「授業で使える！昆虫豆知識」を講義

館長が自ら撮影された虫達の写真等を基に、刺すハチと刺さないハチがいることや、触るだけで危険な虫がいることなど、また、先生達を困惑させるほど生き物好きな子どもがいる場合は、博物館や昆虫館に委ねるのが得策などと講義。参加者からは、「昆虫のことを詳しく聴く機会がなかったので、初めて知ることが多く楽しく聴きました。」や「なるほどと思える内容で、ぜひクラスの子どもにも伝えたいと思った」などの意見。



## 大阪森林インストラクター会(5名) の指導による「ネイチャーゲーム」を体験

まず、教員全員で、自分の背中につけられた生き物の名前を相手に質問して推理する「動物交差点」等を体験した後に、ネイチャーゲーム班(21名)は集めた色々な葉っぱで勝負する「葉っぱジャンケン」などを体験しました。参加者からは、「葉っぱジャンケン、カモフラージュなど、学校の中でもできそうなものがありました。学校でも子ども達と一緒にしてみたい。」などの意見。



## きんきちゅうごく森林づくりの会(3名) の指導による「ノコギリで間伐」を体験

現地で指導者から間伐作業の注意点の説明や、作業手順の実演を見学した後、3班(14名)に分かれて間伐と玉切りを実践。参加者からは、「間伐体験は是非やるべき。危険は伴うが大変さや意味を知るうえで必要だと思う。」などの意見。



## 授業における森林環境教育は必要か(アンケート集計結果)

小学校教員では29名中、24名(83%)が必要だと回答し、中学校教員では6名中、4名(67%)が必要だと回答がありました。しかし、実際に授業が行われていると回答したのは小学校教員の7名にとどまっており、理由としては「授業時間」や「教員の意識の問題」などの意見が出されました。

また、意見の中には「体験的に学んだり、現在の問題をどう解決していくかを考えていくことは、とても大切であると感じた。」「教員側が、まず学ぶことが必要。自分を含め森林環境教育に対しての知識がまだまだ少ない。」などの意見もあり、今回の体験が実践的な森林環境教育に繋がることに期待して、箕面森林ふれあい推進センターでは、引き続き教育委員会と連携して実践での支援や体験学習の場の提供などに取組んでいきたいと考えています。



水都おおさか森林の市 2017「森林と木材！フォトコンテスト」入賞作品の紹介  
10月22日予定の入賞作品の表彰式及び発表会は台風21号の影響により中止となりました!!

近畿中国森林  
管理局長賞

『森林に生きる』

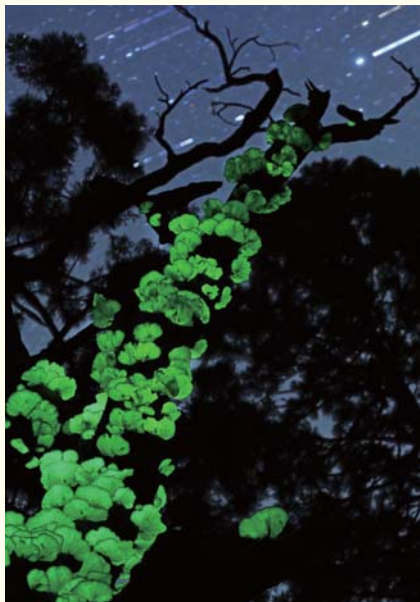
谷水 毅 様  
(広島県竹原市)

【メッセージ】

ブナ林は日本を代表する森林である。長年の成長を終えて土に戻ろうとしているブナの老木に群生する「ツキヨダケ」。昼間、ツキヨダケを見ると美味しそうなキノコだが、実は毒キノコで食べる事が出来ない。ツキヨダケは晩夏から秋にかけてブナの木に群がり夜になるとぼんやりと怪しくも緑色の光を発する。これが毒キノコかと思うくらい異常すぎる程の美しさであり闇夜の森林に光るツキヨダケは実に神秘的である。

月の無い星空の下でツキノワグマとの出会いを心配しながらのツキヨダケの写真撮影だが、自分が別世界の中に居る気分は最高である。

①



②



①



近畿中国森林  
管理局長賞

『ケヤキと私だけの世界』

一般社団法人 Mint Green  
末武 和之 様  
(奈良県奈良市)

【メッセージ】

昨年6月に開催された自然体験キャンプで、木製スプーン作りに挑戦した小学4年生(当時)の綾花ちゃん。参加した子どもたちのなかでいちばん大きなスプーンを作るために、ノコギリ・小刀・彫刻刀を駆使して、材料となるケヤキの木片と真剣勝負です。

ところが、ケヤキはとても堅く、思うように削れません。それでもあきらめず、翌日も野外炊飯や川遊びのプログラムの空き時間を利用して、少しずつ彫り進めてゆく綾花ちゃん。いつしか、ケヤキと自分だけの世界に没入していきます。

②



③





①



近畿中国森林  
管理局長賞

『シイタケの育つ森づくり』  
飛鳥里山クラブ里山づくり隊  
和本 仁司 様  
(奈良県桜井市)

【メッセージ】

飛鳥里山クラブは国営飛鳥歴史公園のボランティアで、公園の甘樫丘地区等を主な活動拠点とし、里山景観保全や花による見どころづくり等を行っています。

椎茸栽培に必要な楢木（ほだ木）は、クヌギの苗木を調達し植樹してきましたが、平成26年からはどんぐりから育てる資源循環体系を目指しています。

どんぐりから育てた楢木に椎茸が育つまではあと数年かかりますが、甘樫丘を訪れる皆さんに里山の魅力を知っていただく中高年者達で頑張っています。

②



③



①



③



水都おおさか  
森林の市賞

『大阪のまちなかで山遊び!』  
柿本 大治 様  
(大阪市都島区)

②



【メッセージ】

山の日PRイベント「大阪のまちなかで山遊び!」に参加し、ゆるキャラ「やまお」と記念撮影。

イベントで特に勉強になった「和紙すき体験」。

祖父は、「因州和紙の里」の鳥取県の青谷の出身で、紙を扱う仕事をしています。

その影響もあり、紙はどのようにしてできるのか、紙の大切さを学ぶため、「和紙すき体験」に参加し、実際に和紙すきをしたことで、紙を大切に作る気持ちを持ったようです。

かっこいい森林官（フォレスター）の制服、よく似合っていました。

イベントに参加して、森林の大切さを学び、木への関心を持ってくれたことでしょうか。もしかしたら、将来は森林官! ?

次号 (93号) へ続く



水都おおさか森林の市 2017「森林と木材！フォトコンテスト」入賞作品の紹介

前号(92号)から続く



『木登り大成功!!』

ボーイスカウト富田林第1団カブスカウト隊

北 幹雄 様

(大阪府富田林市)



【メッセージ】

日本ボーイスカウト富田林第一団カブスカウト隊（隊員23名・指導者10名）の仲間は、平成28年9月25日（日）に大阪府営「錦織公園」の森で木登りにチャレンジをしました。

子供たちは、自分で目標を立てて、自分の力で登っていくなかで勇気や自信がわいてきて、今までにない満足感と達成感を味わうことができました。また、今まで体験したことのない樹上の世界を知って感動がいっぱいでした。



『柳生への道は森の中』

吉田 宏 様

(神奈川県横浜市)

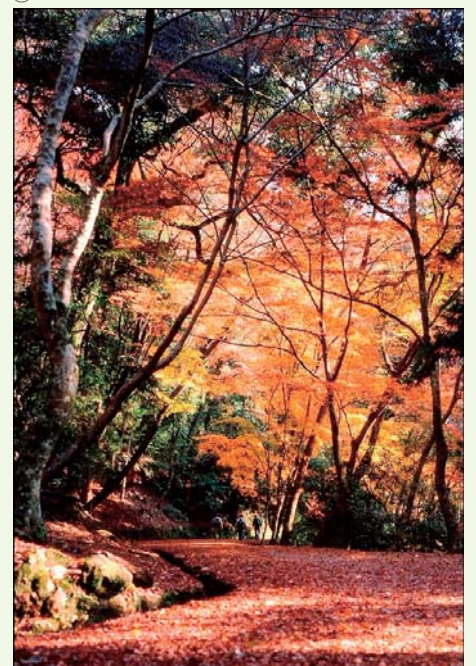
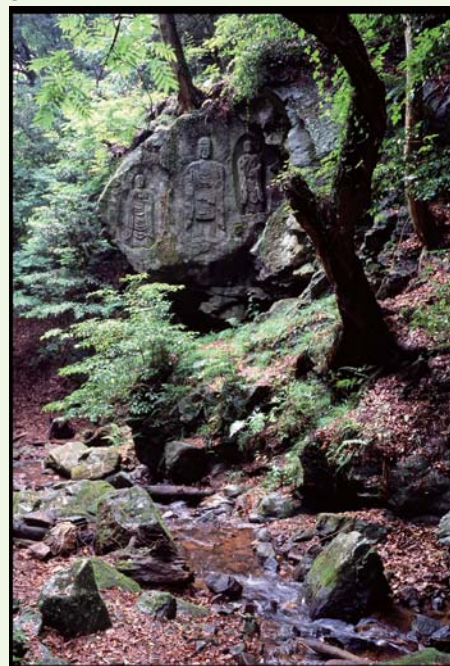
【メッセージ】

奈良市奈良町から春日山と高円山を越え忍辱山を経て柳生へと繋がる柳生街道滝坂の道は森の中。

幾度も起伏を繰り返し、途中、石仏が点在する道は、要所に石畳が敷かれている道でもあります。

石仏の中で美しいのは朝日を受けて輝く朝日観音。

その朝日観音と紅葉の春日山の2枚で写真を組ました。



当センターでは、入選作品をカレンダーに編纂してお配りしますので、皆さんお楽しみに！







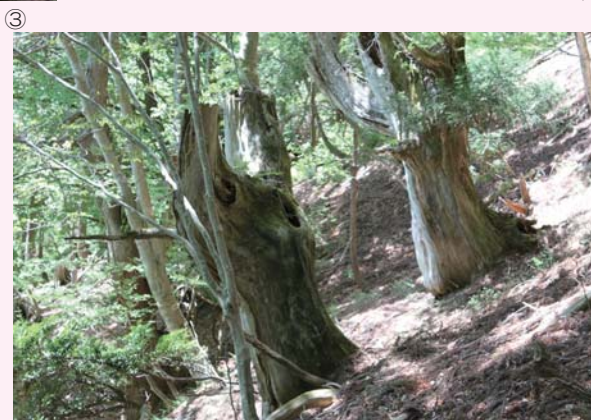
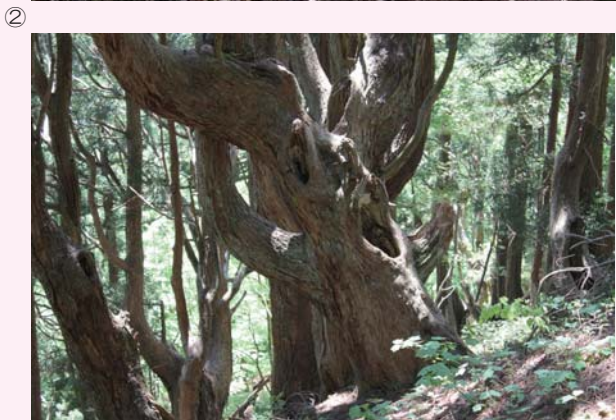
優秀賞

『森林の寝台 (もりのベッド)』

土屋 達也 様  
(大阪市住吉区)

【メッセージ】

大阪という大都市近郊にもたくさんの木々・植物や生物を育む素晴らしい自然があります。厳しい環境の中で一生懸命生きて、時にはとても愛らしい表情を見せてくれるこの森のニホンリスを追いかけてもう7年になります。今回、このフォトコンテストに応募する事に至った経緯は私が撮影した稚拙な写真でも誰かの目に留まり、自然や生物に対する敬意に繋がればと思い、応募致しました。



審査員特別賞

『森の精』

上萩 寛 様  
(滋賀県大津市)

【メッセージ】

森の中では、様々な出会いがあります。この森の精達も歩いていて、ふと周りを見回して出会ったものです。山歩きは、息が切れたり足下の心配もあるので、なかなかゆっくり周りを見ながら歩くのは難しいかもしれません。

でもちょっと立ち止まって周囲を見渡せば、もっとたくさん森の魅力に触れることが出来ると思います。

入選作品のきれいな画像とメッセージは箕面森林ふれあい推進センターのホームページをご覧ください。  
([http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\\_fc/](http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/))

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター  
TEL:06-6881-2013/FAX:06-6881-2055  
〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局3F  
URL:[http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\\_fc/](http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/)  
E-mail [kc\\_fureai@maff.go.jp](mailto:kc_fureai@maff.go.jp)





## 箕面「山とみどりのフェスティバル」に出展！！ ～子供たちが「水源の森」ジオラマづくりに挑戦！！～

11月3日（祝）、箕面の自然環境の保全などに関わる市民団体やNPOなどの活動紹介などを目的に、箕面公園瀧安寺前広場をメイン会場として、「山とみどりのフェスティバル」が開催されました。10月の日曜日を2週続けて襲った台風の影響で、箕面大滝までの滝道が通行止めとなり、メイン会場の片隅には被害を受けたスギの根株等が集積され、会場は予定よりも狭くなるなど影響を受けましたが、来場者は昨年を上回る2,500名が訪れました。

当センターでは、「箕面体験学習の森」、「森林環境教育研修」や「ニホンジカ被害対策」などの日頃の活動を紹介します。パネルを展示するとともに、「水源の森」ジオラマづくりや木製コースターへの絵描きなど、30組を超える子供たちや家族連れに体験していただきました。主な材料がイタドリの穂、ケヤキの樹皮、水苔と聞いた大人たちからは驚きの声も聞こえました。40分程度の作業を終えた子供たちは、「難しかったけど、楽しかった。」などの感想と、自分の作品に満足した顔や、どや顔を作品と一緒にカメラに収めさせてくれました。「ニホンジカ被害対策」のパネルに見入っていたお父さんは、「箕面の山がこれほど被害を受けているとは知らなかった。捕獲等に携わる皆さんの頑張りに期待したい。」などの励ましもいただきました。





# 箕面国有林で大阪青山大学と中央工学校OSAKAが野外実習を実施！！

## 大阪青山大学

11月4日（土）、大阪府箕面市にある大阪青山大学の学生7名が、「地球環境論」の講義として箕面国有林内にある「箕面体験学習の森」とその周辺で野外実習を実施しました。当日は、幼・壮・老齢の天然林や人工林を巡る中で、間伐の必要性やシカによる被害が地球環境にもたらす影響などを担当教授やセンター職員から説明を受け、真剣にメモ取りや写真撮影を行った後、間伐体験と樹名板も設置し、冬山で心地よい汗をかいていました。



## 中央工学校OSAKA

11月30日（木）、建築士などを目指している中央工学校OSAKA（大阪府豊中市内の専門学校）の学生14名が、箕面国有林の勝尾寺園地周辺で野外学習を実施しました。この取組は、普段から扱っている建築材料の木材が、どのような環境の中で育っているのかや、森林の状況などを学生たちに見せたいとの講師からの依頼を受けて、毎年実施しているものです。当日は、職員から森林の機能やシカの被害対策等について説明を受けた後、林内を散策中に台風被害により倒れたり折損したスギやヒノキを目の当たりにするなど、これまで見たことのない光景に驚きの声を上げていました。

学生からは、「樹木が大変厳しい環境の中で育っていることが、よく解った」などの感想が聞かれました。





## 「エキスポ'90 みのお記念の森」には何があった!? ～今年も、小学生が森を調べ！自然や文化を深く学んだ!～

平成29年11月13日(月)、箕面市立豊川北小学校の4年生80名が、箕面国有林「エキスポ'90' みのお記念の森」で当センターが開発した森林環境教育プログラム「森の探検隊」を体験しました。

「森の探検隊」は、「エキスポ'90' みのお記念の森」内に設定された30箇所あまりのポイントから、グループごとに予め決めておいた5ポイントを巡り、各ポイントに設置された「指令書」の謎かけを解いていくことで、楽しみながら森の不思議等を学べるよう工夫されたプログラムです。

5～6名を1グループとし、今回は15班編成としました。子供たちは、事前にポイント名やポイントの概要などを確認し、回るポイントを選択し、記録係やカメラ係など役割分担を決めておくなどの準備をして臨みます。また、大阪森林インストラクター会の協力により、事前のポイント設定のアドバイスの外、当日は引率役として会員10名や京都大阪森林管理事務所職員3名にお手伝いをいただきました。

子供たちは元気いっぱい、ポイントでは「指令書」により森や自然について、色々と調べました。森の多様性、効能、楽しさや増えすぎたシカの被害対策の苦勞などを感じてもらえたことでしょう。



お世話になった  
森林インストラクターの皆さん



指令書見つけたよ!!



いい香りがするよ!



葉っぱのお面で  
ハイポーズ!



午後は、場所を「箕面ビジターセンター」に移動し、NPO法人みのお山麓保全委員会のメンバーの指導により「水辺の生き物調査」、「森の自然工作」、「ビジターセンター展示室見学」を体験し、「水辺の生き物調査」では、箕面川から採取したトンボの幼虫など昆虫類や小動物を観察し、森と川のつながりなどを学ぶなど、箕面の森の豊かさを実感してもらいました。



この生き物な～に？  
は～い！！

川の中の生き物だよ

箕面の森の中には  
生き物がいっぱい

みんなが作った自然工作



## 森を調べて分かったことを下級生に伝えました！ ～「森の探検隊」発表会～

平成30年1月25日(木)には、豊川北小学校の4年生による「森の探検隊」体験発表会が行われました。子供たちは班ごとに、模造紙を使って大きなリーフレットを作成し、森の中で自分たちが見て、触って、感じたことや調べたことを取りまとめ3年生に伝えました。

3年生は、自分たちも来年体験できることを楽しみに聞いていました。この取組を通して、子供たちの森への関心は一層深まったことでしょう。当センターは、これからも子供たちが山を楽しみ、森に関心を持って学べるプログラムになるよう改良に努めて行きたいと考えています。



下級生にもしっかり  
伝わったよね☆☆



## ESDの視点から保・幼・小と活動団体等が連携！ ～「森林環境教育（森林ESD）活動報告・意見交換会」を開催～

箕面森林ふれあい推進センターは、1月27日（土）に大阪市北区の近畿中国森林管理局大会議室において、（公社）国土緑化推進機構及びNPO法人近畿環境市民活動総合支援センターと共催して、「森林環境教育（森林ESD）活動報告・意見交換会」を開催しました。当日は、教育機関・自治体・活動団体など75団体125名の参加があり、3つの講演と8事例12団体からの事例報告、パネルディスカッション等を行いました。

### 近畿中国森林管理局長あいさつ

多くの参加に感謝します。本会は新たに加えた「幼児期での森林体験学習」の事例を含め、講演や事例報告、パネルディスカッションをしていただきますが、前日に開催された「森と自然を活用した保育・幼児教育に関する自治体勉強会in関西」と、この意見交換会をとおして、参加されている皆さまの今後の森林ESDのための活動の活性化、連携・協働の強化及び相互交流の進展に繋がることに期待しています。



近畿中国森林管理局  
高野浩文局長

### 講演

講演について参加者からは、「森林環境教育が重要となっていくこと、行政も動いていることがわかった。」「幼児期の自然の中での体験が大事であることを理解した」「ESDや森林環境教育の目的などがわかりやすく理解できた」など、それぞれの講演から「学ぶことが多くあった」との感想が寄せられました。



#### 京都教育大学 社会科学科教授 山下宏文氏

「過去2回の取組成果と年代をつなぐ森林ESDの取組の視点」  
～森林ESDの視点についてや過去2回の取組の成果の報告を受けて～



#### NPO法人 森のようちえん全国ネットワーク連盟 理事長 内田幸一氏

「幼児教育における森林体験学習」  
～内田さんが運営する森のようちえんの活動報告の紹介後、  
森のようちえんの運営の考え方や、子ども達に自然環境の中でどう意識化させていくか～



#### 公益社団法人 国土緑化推進機構 政策企画部課長 木俣知大氏

「幼稚園教育要領、保育所保育指針、学習指導要領の改訂と森林ESD」  
～森林ESDの視点から、学習指導要領改訂を踏まえて教育に求められるものや、  
そのための支援・協働の体制の動きなど～





## 事例報告

幼児教育関係が5事例、小学校関係が3事例について行われ、連携によって活動団体自身も活性化していること。地域での繋がりが深まり、更に取り組みが広がっていること、森の中で子ども達が生き生きと体験していること、そうした中で子ども同士で考え共同して取り組む姿が生まれていることなど、多様な背景を持った事例として体験・実践の報告がありました。



## 事例報告団体等

事例1 「森とともだち ～自然の中で共に育ちあう～」

社会福祉法人顕陽会 すみだこども園 西北千絵子 (和歌山県)

「みつけて ふれて わくわくドキドキ!!」

橋本ひだまり倶楽部 小杉美恵子

事例2 「森のようちえんから広がる、里山の人・世代・未来」

森のようちえんウィズ・ナチュラ 岡本麻友子 (代表) (奈良県)

明日香森林環境教育フィールド「Forest Rivr」 森川生一 (代表)

事例3 「子ども達と共に」 里山再生の試み

津山 森のようちえん ことこと 澁谷太郎 (園長) (岡山県)

事例4 「幼児に土と緑を」

公益社団法人 京都市保育園連盟 八瀬野外保育センター 高見 累 (京都府)

事例5 「～木とふれあい、木に学ぶ、木と生きる～ 木のまち吉野だからできる「木育」

吉野町教育委員会 紙森智章 (学校教育推進室長) (奈良県)

吉野町立わかばこども園 中山智美 (園長)

森林インストラクター 坂口 榮治

事例6 「地域学習への取組(森林環境教育に関連して)」

橋本市立清水小学校 栗川万須美 (校長) (和歌山県)

「子供力(こどもりょく)小学生だって森林整備!!」

橋本ひだまり倶楽部 小杉恵美子

事例7 「森林環境教育プログラム よぼし子の森」

土に根ざした学びの場・まるやま組 萩のゆき (石川県)

事例8 「1年生から関わり続ける里山体験～取り組みから見えてきたこと～」

箕面市立止々美小学校 國廣幸一 (教諭) (大阪府)



左上 西北さん、小杉さん、岡本さん、森川さん  
澁谷さん、高見さん、栗川さん

左下 紙森さん、中山さん、坂口さん、萩のさん  
国廣さん

【次号 (97号) ～続く】

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター

TEL:050-3160-6745/FAX:06-6881-2055

〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局 3F

URL:[http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\\_fc/](http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/)

E-mail [kc\\_fureai@maff.go.jp](mailto:kc_fureai@maff.go.jp)



## ESDの視点から保・幼・小活動団体等が連携！ ～「森林環境教育（森林ESD）活動報告・意見交換会」を開催～

【前号（96号）から続く】

3回目の開催となる今回は、幼児期の事例を含めて募集を行い、ESD（Education for Sustainable Development：持続可能な開発のための教育）の視点で見直した実践の成果や活動団体の役割、また保幼小連携などを考え、成果の共有、相互交流、連携や活動の活性化を通じた森林環境教育（森林ESD）の普及を目的に開催したものです。

### 参加者交流（意見交換）

3回の休憩時間の前に参加者交流を行い、参加者からは「色々な立場で参加されている方々に話を聞くことができた」「同じような状況や悩みを持った地域や団体と横の繋がりができた」「活動されている先輩方との出会いはありがたかった」など参加者同士の繋がりを広める機会となりました。



### パネルディスカッション

元地球緑化センターの金井久美子さんの進行で、講演者（3名）と発表者（8名）によるパネルディスカッションを行い、発表者からは森での活動で感じることや連携による変化・保幼小の接続など、それぞれの活動の中で感じていることが語られました。

講演者からは、「森林・自然が持っている教育力を改めて感じた。」「子ども達が正しく育っていく環境が森林にはあるが、そうではない違う環境でどう育てていくかを実践できるかが問われる。だからESDがある。」「発表事例から、質の高い体験が行われており、活動がESDとして成り立っているかを考えてもらえた。幼児期でしかできないことがあり、森林体験の意義ということを考えてもらいたい。」などの意見が出されました。





## 主催者・共催団体あいさつ



森の力、子どもの力を信じることの大切さを学んだ。関係者がどうやって連携していくかが大事で、信頼関係が生まれることで良いものができていく。国土緑推としても支援活動に取り組んで行く。

共催団体:公益社団法人国土緑化推進機構  
富永茂政策企画部長



色々なところに成功事例がある。出合いや学び合うことが大事であり、こうした場を活かしてもらいたい。エコネット近畿でも交流の場を企画している。

共催団体:NPO法人近畿環境市民活動総合支援センター  
新田章伸副理事長



ESDは、地球市民の一員として考えることのできる能力を育てるということ。地球全体の未来を考える思考の一つに、森林体験が活かされていけばと考えている。この会では、色々な立場の方々が意見交換できたことは良かった。この後の時間で更に交流を深めてもらい、参加した意義を高めてもらいたい。

主催:近畿中国森林管理局  
高井秀章森林整備部長

## 小学校教科書、森林・林業に関する副読本等の展示

サイドイベントとして、京都教育大学附属図書館の協力のもと、森林、林業、環境に関する小学校の教科書及び副読本の展示を行いました。活動報告、意見交換会の参加者の多くが訪れ、戦前から現在に至る教科書の林業や森林に関する記述に触れ、小学校の授業について想いを巡らせました。



## 参加者のアンケートから

- ・参加しての感想・事例発表の感想とも、「大変参考になった」「参考になった」を合わせて、90%と高い評価を得ました。
- ・「ESDを取り入れたい」と50%の回答があり、「連携・協働に取り組みたい」も53%と、「それぞれ既に実践している」が20~30%いる中で、「これからも取り組みたい」とする意見が多く出されました。
- ・感想からも、「大変勉強になった」「地域でも活動を進めたい」「色々な事例から自分の中で具体的なイメージが膨らんだ」など学びや意欲に繋がる感想が寄せられました。

当センター、共催団体、後援団体等のネットワークでの参加募集により、多様な組織から多数の参加を得ることができました。関係の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。今後、当センターとしましては、3年間の取組について事例集として取りまとめを行うとともに、成果として「森林環境教育の普及」に幅広く活用したいと考えていますので、今後とも皆様のご支援をいただければ幸いです。





箕面市立豊川北小学校「森の探検隊」にて (H29.11.13)



林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター  
〒530-0042 大阪府大阪市北区天満橋1丁目8番75号 近畿中国森林管理局内  
電話：050-3160-2013 FAX：06-6881-2055  
ホームページ [http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\\_fc/](http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/)  
E-mail [kc\\_fureai@maff.go.jp](mailto:kc_fureai@maff.go.jp)

この「年報」は上記アドレスに掲載していますので、ご覧下さい。